



## 歯周病が おなかの赤ちゃんに影響？！

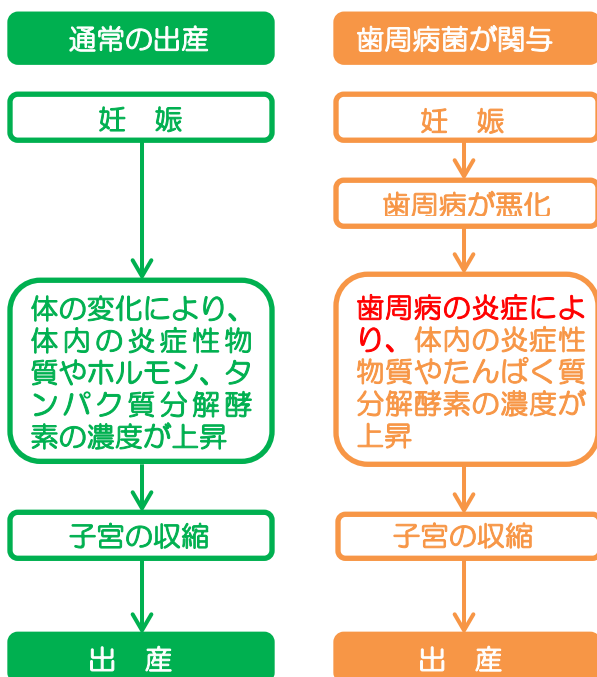


お口の病気である歯周病。  
実は全身の健康にも影響することをご存じでしょうか？  
歯周病が悪さをするのは、おとなのからだだけではありません。  
なんと生れてくる赤ちゃんにも影響する可能性があるのです！

### case 1

#### 歯周病の炎症が出産を促す？

進行した歯周病による炎症が体内の炎症性物質の増加を促し、それが子宮の筋肉の収縮をまねいて早産を引き起こすと考えられています。



### case 2

#### 歯周病が子宮の内部に感染する？

血液中に入り込んだ歯周病菌が羊水や羊膜などに達し、感染がおこります。その結果、早産や、胎児の発育不全を引き起こす可能性が考えられています。



#### 歯周病の妊婦さんはリスクが約2倍に！

妊婦の歯周病患者さん1635人について、早産・低体重児出産のリスクを調べると、歯周病ではない妊婦さんと比べると約2倍になっています。妊婦さんは、ホルモンバランスの変化や、つわりで歯磨きがしづらくなることなどから、歯周病になりやすく悪化しやすい傾向があります。

#### 大切なのは、やっぱり定期健診！

今は異常がないと思っても油断は禁物。歯周病は痛みなく進行しますので、気づいたころには、かなり悪化していることもあります。

少なくとも3ヶ月～半年に1回は、歯科でメインテナンスを受けましょう。そして歯石を除去し、歯周ポケットの中までプロフェッショナルクリーニングできれいにしてもらいましょう。

歯周病は予防と治療が可能な病気。いつか赤ちゃんをとっている方は、歯周病の治療を早めに済ませておきましょう。